



あけまして  
おめでトン!

大船渡市PRキャラクター  
「おおふなトン」

## 謹賀新年



大船渡市長  
戸田 公明

令和3年の年頭にあたり、謹んで新年のあいさつを申し上げます。

東日本大震災の発生から、間もなく10年を迎える今日に至るまで、復旧・復興に向け取り組んでいく中で、国内外から多大なるご支援とご協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

おかげをもちまして、「市民生活の復興産業・経済の復興、都市基盤の復興、防災まちづくり」を4つの柱とした、本年度末を計画期間とする市復興計画に搭載した事業は、ほぼ完了の目途が立つところまで進捗し、いよいよ最終ステージを迎えております。

そのような中、昨年は新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るい、当市の地域経済や産業、市民の暮らしにも大きな影響をもたらしました。この難局を乗り越えるべく、市独自の生活支援策や経済支援策を適時適切に実施しながら感染防止に努めてきたところであります。

一方、当市におきましては、人口減少の進行が地域のコミュニティや地域経済、医療・福祉、学校教育や公共交通など多

方面に影響を及ぼしているほか、まちづくりの担い手の多様化やデジタル化の進展、新型コロナウイルス感染症にかかる「新たな日常」に対応した地域社会の構築など、市民を取り巻く社会環境はめまぐるしく変化しており、引き続き、多様な課題の解決に取り組んでいかなければなりません。

このことから、本年におきましては、復興計画事業の完遂や被災者への心のケアなどの支援事業はもとより、令和3年度を初年度とする新たな総合計画をまちづくりの指針とし、重点プロジェクトに位置付けております「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策を具体的なかつ戦略的に推進してまいります。

特にも、水産・食産業、港湾関連産業をはじめとする地場産業の振興による市民所得の向上をはじめ、市民とともに築く協働のまちづくりによる地域コミュニティの活性化、三陸ジオパークやみちのく潮風トレイルなどの新たな観光コンテンツと連携した広域観光・滞在型観光の推進、復興により構築されたヒト・モノ・コトの活用によるにぎわいの創出、さらには、次代を担う人づくりなど、「新たな日常」に配慮しながら、市民全体に活気があるまちの実現に向け、市民・事業者の皆さまにご協力をいただきながら、全力で取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多きすばらしい年になりますことを心から祈念し、あいさつといたします。